

# 石渡八幡神社の運営について

## 1 社名 八幡神社

## 2 由緒・沿革

祭神は八幡神(菅田別命)と諏訪大明神(建御名方命・八坂刀売命)ですが、石渡村の産土神でもあります。起源はつまびらかではありませんが、曹洞宗地藏寺の境内に祭られていたものを、天文三年(1534年)に現在地に移し、神社が建立されたと伝えられています。

拝殿の正面上部には素晴らしい彫刻が施されています。境内にはその他に、庚申塔、道祖神、蚕の神、惣魂神、惣魂霊神も祭られています。

また、昭和三十年代前半までは、地区内にあった神社所有の諏訪田・伊勢田と言われた水田からの収益をもとに、区民交替で諏訪社・伊勢社への代参が行われていました。

3 祭儀	春祭り(祈年祭)	4月下旬
	夏祭り(風祭)	8月23日
	秋祭り(収穫祭)	10月中旬
	元旦祭	元旦
	道祖神祭り(どんと焼き)	1月中旬

※干支の「寅」年と「申」年には御柱祭が開催されます。

## 4 運営

(1) 神社の管理及び祭りの運営は「氏子組織」で行います。

(2) 石渡区全戸の九割以上が「氏子」になっていますが、加入は任意となっています。

(3) 氏子の「総代」「代理」は選挙で選ばれますが、「相談役」は前年の「総代」が自動的に就任することになっています。

(4) 運営費は、氏子から祭典費として4月と9月に拠出して戴いています。

## 5 祭りについて

祭りは日本の伝統文化ではありますが、それぞれの地域の文化でもあります。同時に、地域の皆様の出逢いの場でもあり、郷土芸能に触れる機会でもあります。石渡区民の出来るだけ多くの皆様にご参加いただきたいと思います。

特に秋祭りは、前夜祭には神楽保存会の皆様による獅子舞があり、本祭り当日には子供神輿や神社境内における出店もあって賑わいます。祭りの前にはご案内を全戸配布しますので、気軽にご参加ください。